

子育て支援センターはばただよい

新年あけましておめでとうございます。皆様にとって良い年となりますよう心よりお祈り申し上げます。センターでは、異年齢の子ども達が互いに刺激を受けながら楽しく過ごす姿が見られます。今月も、季節の製作や育児講座があります。ぜひ、気軽に遊びにいらして下さい。お待ちしております♡

日	曜日	1月の予定
1	水	元旦
2	木	振替休日
3	金	年始休み
4	土	
5	日	
6	月	自主交流 お正月製作（凧・コマ作り）
7	火	
8	水	（午前・午後）ゆったりDAY
9	木	（午前）HAPPY 育児相談（新聞紙遊び）
10	金	
11	土	
12	日	
13	月	成人の日
14	火	自主交流（午前・午後）感触遊び（小麦粉粘土）
15	水	
16	木	（午前）リズム運動
17	金	（午前）お誕生会
18	土	
19	日	
20	月	自主交流（午前・午後）わらべうた遊び
21	火	（午前）こどもことば講座
22	水	
23	木	
24	金	
25	土	
26	日	
27	月	自主交流（午前）離乳食教室
28	火	（午後）抱っことおんぶの講座
29	水	節分製作（鬼の被り物）
30	木	
31	金	

☆行事に関してはスケジュールが変更になる場合があります。事前に支援センターまでご連絡ください。

「HAPPY 育児相談」

イヤイヤ期、癇癪、子どもによって対応は違う。子どもの対応の仕方や気になっている事・困っている事を子どもを遊ばせながら気軽に公認心理師に相談できます。この日は新聞紙遊びを行います^v^
日時：1月9日（木）10時00分～11時00分
定員：2組 ※申込期限：1/8（水）

「1月生まれお誕生会」

1月生まれのお友達の誕生日をみんなで祝いします。
※1月生まれのお子さんは誕生カードの準備があるので
1月15日（水）までに申し込みをお願いします。
日時：1月17日（金）10時15分～11時00分

「こどもことば講座」

子どもがことばに興味をもつ関わりや遊びについて教わる事ができます。（対象年齢 1歳～3歳）
講師：津波 彰恵氏（言語聴覚士）
日時：1月21日（火）9時45分～10時45分
定員：10組 ※申込期限：1/20（月）

「離乳食教室」

離乳食の進め方や手軽に作れる離乳食作りについて管理栄養士から教わります
講師：知花 智草さん（管理栄養士）
日時：1月27日（月）10時00分～11時30分
定員：10組 ※申込期限：1/24（金）

「抱っことおんぶの講座」

子どもの軸と自信を育む抱っこ、おんぶの方法を教わる事ができます。
講師：加地 純子氏
日時：1月28日（火）14時15分～15時15分
定員：8組 ※申込期限：1/27（月）

☆行事や育児講座への申し込みをされた方は、キャンセルの場合、ご連絡をお願いいたします。

令和6年12月27日（金）No.326
読谷村字高志保 1406番地 <読谷保育所2階>
Tel:958-3025

子育て支援センターとは？

0歳児～就学前のお子さんとそのご家族が**無料**で利用できる施設です。子ども同士で遊ばせたい、パパ友やママ友が欲しいなど、交流をしながら子育てについての悩みや不安解消の糸口の間でもあります。その他、**交流保育・育児講座・育児相談**を行っております。（詳しくは担当までお問い合わせください）

利用案内
利用日 月曜日～金曜日
利用時間 <午前>9時半～12時
<午後>1時～4時
休業日 土曜日・日曜日・祝祭日・年末年始・慰霊の日

※**駐車場は村立図書館をご利用下さい。**
駐車場中央は図書館利用者スペースです。**図書館中央スペース以外をご利用下さい。**
また、保育所近隣への無断駐車は控えて下さい。ご協力をお願いします。

子どもの心は、甘えと反抗を繰り返して大きくなる

子どもの心は、どういうふうに育っていくのでしょうか。子どもの心は、甘えと反抗を繰り返して、大きくなっていくといわれています。「甘え」とは「依存」のこと。「反抗」とは「自立」のこと。この二つを行ったり来たりしながら、子どもの心は大きくなっていきます。まず、子どもの心は赤ちゃんとして生まれたとき、親に完全に依存した状態で生まれてきます。そこで子どもの心がもらうのは「安心感」です。じゅうぶん甘えて、安心感をもらった子どもには、やがて、もう一つ、別の心が出てきます。それは不自由です。そうすると子どもは自由になりたい、と思います。これが「意欲」です。そこで自立の世界に向かいます。自立した子どもは自由を満喫します。ところがしばらくすると、もう一つ別の心が出てきます。それは不安です。あまり不安が強くなると依存の世界に戻ってきます。そしてまた安心感をもらいます。じゅうぶん安心感をもらおうと、また子どもは「自分でやる」と言います。自分でやっていると、また不安になって、こちらに帰ってきます。そういうことを繰り返して、自立に向かっていくのです。もし、子どもが不安になって、後ろを振り返ったら、そこには、ちゃんと親がいて、大丈夫だよ。とうなずいてくれる、そういう関係を築いていきましょう。

明橋大二著『子育てハッピーアドバイス』より1万年堂出版発行